

「関東食育連携プラットフォーム～この指とまれ！～」エントリーシート(関東農政局)

■ 活動紹介

団体名等	長野県農村文化協会		
事業内容	農村の文化向上を目的に昭和26年に発足。地域の風土と暮らしの伝統と知恵を継承する活動を行う。和食(一汁三菜)に宿る日本の文化を引き継ぐ。梅池食農学習センターにて学習会・食育講座など取り組む		
所在地	〒380-0942 長野市小柴見58-34	ホームページ 等	http://www.ruralnet.or.jp/tuga20/
電話番号	026-228-8033 090-5818-6880	F A X	026-228-8021
食育活動 (連携事例を含む)	日本の食の形が残る昭和30年代に焦点を当て、聞き取り調査に取り組み、「市町村(旧村)版食の風土記」「紙芝居」「レシピ集」としてまとめ、食育推進活動のテキストとして活用している。平成19年(2007)農林水産省「食育モデル民間団体実践活動事業」採択。農家体験「ふるさとの家」開設、「食の文化祭」開催、「信州ながの食の風土記」発行。飯山市、飯綱町、長野市、鬼無里、千曲市など実行委員会を立ち上げ取り組んでいる。和食(一汁三菜)に宿る日本の文化を引き継ぐ手法として箱膳を使い「食べごとの心」を子どもたちに伝えている。実施部隊として「ひらがな料理普及隊」を結成、学校・公民館・観光施設等あらゆる場で箱膳体験を行っている。		

食育活動写真



【一汁三菜箱膳】



【箱膳解説 池田玲子】



【箱膳体験】

活動の効果	「食の風土記」づくりは食育活動に取り組む人の学習意欲、継続する力の向上に効果が高い。世界無形文化遺産に登録された「和食」の普及推進に「箱膳体験」は有効。全県下に拡がっている
継続への課題	学校給食を活用した和食学習の方法を模索中。食の語り部の育成

■ 連携を希望する取組について

連携を希望する業種等	教育関係(特に大学との連携) 和食に関わっている観光・企業・飲食店
取組内容	都市の人と田舎の人を繋ぎ、ネットワークづくり(体験交流) 箱膳を使って和食の魅力再発見、次代に伝承すべきこと相互確認。